

複雑な農薬情報を読み解くお手伝い！ —農作物名称サーチによる農薬情報の収集支援—

試験研究計画名：情報・通信・制御の連携機能を活用した農作業システムの自動化・知能化
による省力・高品質生産技術の開発

研究代表機関名：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

背景とわらい：

栽培時の「農薬使用基準（農林水産省）」と、人が摂取しても安全と評価された「残留農薬基準（厚生労働省）」はいずれも厳密に遵守すべき農薬基準であり、簡単に参照できる環境整備が必要です。しかし、農薬基準のデータ名は統一されていないうえに農薬特有の表現のために農薬基準情報の収集は困難です。そこで、農薬基準情報の正確かつ効率的収集に活用できる「農作物名称サーチ」を開発します。

特長と効果：

農作物名称サーチ (<http://cavoc.org/cvo/application/CropNameSearch/>) は、農作物を定義する「農作物語彙体系 (Crop Vocabulary、CV0)」を、入力された農作物名（図1 “きゅうり”）とその同義語（“キュウリ”）で部分一致検索し、該当する「農作物語彙体系」、およびそれと連携する「農薬使用基準」、「残留農薬基準」情報を表示するものです。農作物名称サーチを利用することで、1）農作物によっては農薬基準のデータ名が収穫部位、生育ステージ、用途等で異なること、2）農作物によっては「農薬使用基準」と「残留農薬基準」のデータ名が異なることが確認でき、3）農作物によっては「農薬使用基準」データ名の意味をリンクする CV0 農薬使用基準ページで明確にすることが可能です。収穫部位等で農薬基準が複数設定された農作物や異なる農薬基準によってデータ名が異なる場合にも農作物を簡単に確認できるため、農薬基準情報の正確かつ効率的収集の手助けとなります。

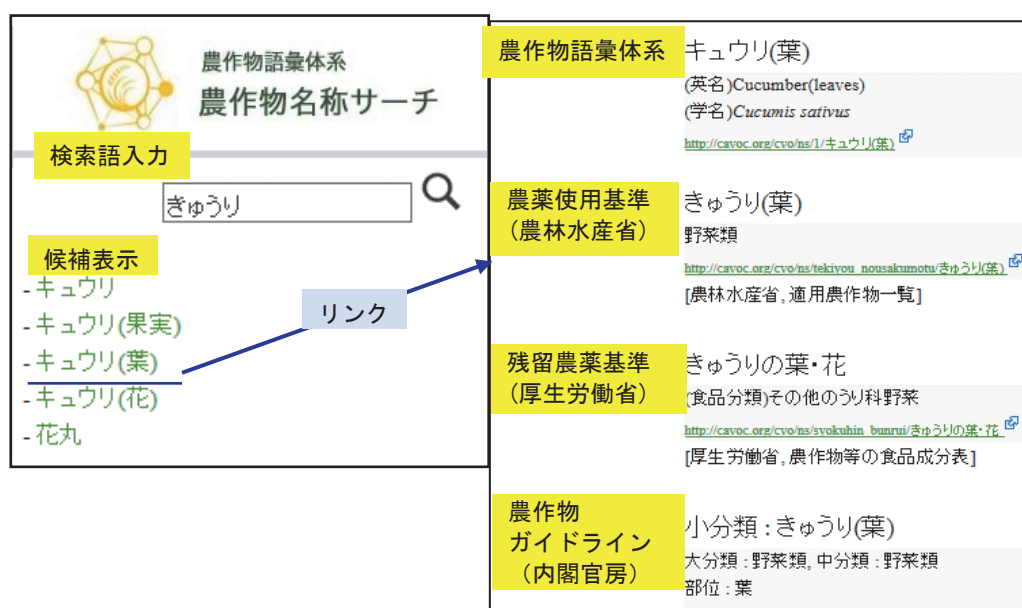


図1 農作物名称サーチにおけるキーワード“きゅうり”の検索

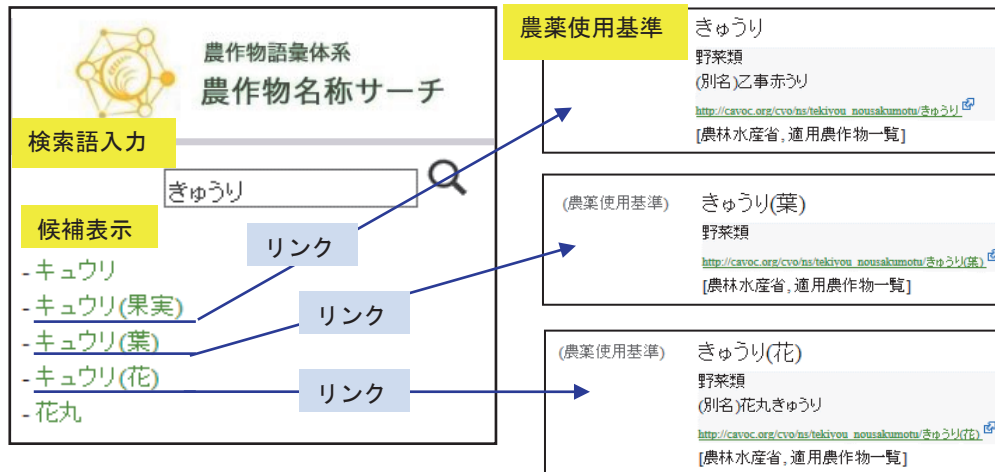


図2 農作物名称サーチによる“キュウリ”の農薬使用基準の設定確認
“キュウリ”は収穫部位により農薬使用基準が複数設定。

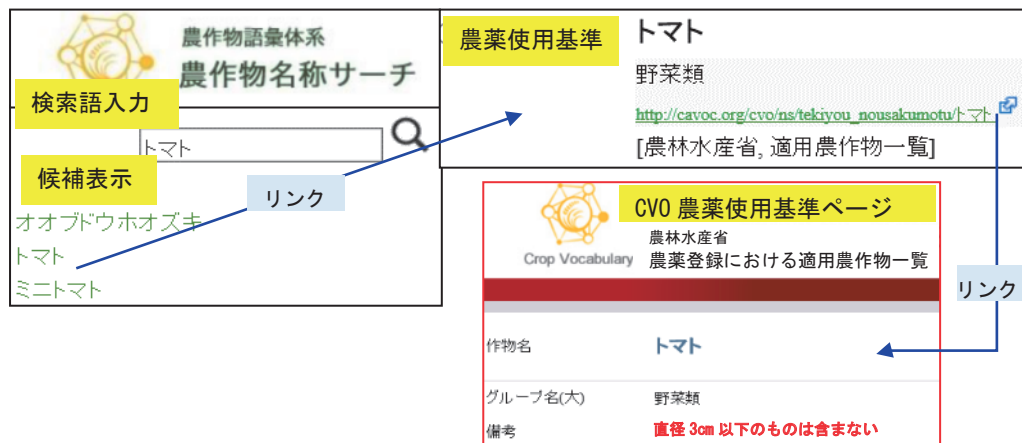


図3 CVO 農薬使用基準ページにおける“トマト”の定義確認
農作物名称サーチ検索結果にリンクする CVO 農薬使用基準ページで定義確認。

社会実装の対象と可能性:

農業生産者、農業技術指導者、家庭菜園を行う消費者等が新規農作物導入時に農薬基準情報を収集する際、活用されることが期待できます。

参考文献:

- ・ 農作物語彙体系 (Crop Vocabulary、CVO) 公開サイト、<http://cavoc.org/cvo/>
農作物名称サーチ公開サイト、
<http://cavoc.org/cvo/application/CropNameSearch/>

研究担当機関名: 大学共同利用機関 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
農研機構 農業技術革新工学研究センター

研究担当者: 国立情報学研究所 朱成敏、武田英明、農研機構 竹崎あかね

問い合わせ先: 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

農業技術革新工学研究センター 企画部広報推進室

電話: 048-654-7030 E-mail: iam-koho@ml.affrc.go.jp

作成日: 2019/03